もったいない！未来のために
母の視点で よりも で見直し
次世代に借金、リスクを残さない

県議会議員 西村久子 県政報告

第27号

発行 西村久子
彦根市甲崎町
TEL・FAX 43-4700
Eメール hisako@country-farm.net

今日 よりも 明日

雪が深々と降って、世間の何もかも分け隔てなく、白いベールで一面に被われたお正月、みんなが同じように新年のスタートするにふさわしい純白の年明けでした。どんな気持ちで迎えるか、これは人様々‥‥人の幸せも自分の幸せとして受けとめ喜び多い年に、そして、自分も幸せになって人様に幸せのおすそ分けが出来るよう、頑張りたいと思います。

お正月いただいた年賀状の中に、「停年を過ぎた弱体の人間が、楽に往生できる社会をお願いします。」…とありました。とても意味深な時代風刺だと思います。でも、確実に現在の的を得ている問題でもあります。楽に往生できる環境は、どうする事が良いのでしょうか。人の尊厳をかけて、受け入れることの出来る社会は、家族、家庭、地域の絆を高めることの必要を感じるのですが如何でしょう。

昨年９月より、地域医療の勉強会を続けています。心の温かさがつながらないと‥‥親・子・孫の家族、そして地域。長命の時代を生き抜く鍵は、思いやりのある温かなおつき合いにあると思います。本年もよろしくお願い申し上げます。

11月議会より　女性と子どもを守る制度を充実･･･11月議会で基金条例と補正予算を議決

妊婦健診支援基金の延長

基金が23年９月末から24年９月末まで、１年間延長されました。（予算額66百万円）引き続き妊婦の方に必要とされる14回の妊婦健診を公費負担で受けていただけることとなり、健康管理の充実とともに、経済的負担の軽減が図れます。

また、平成22年度途中から追加されたヒトT細胞白血病ウイルス（HTLV-１）抗体検査など必要とされる検査についても、公費負担でしていただけることとなります。

こうしたことにより、県民の皆さんに安心して妊娠・出産していただける体制が推進されます。

子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金の設置

子宮頸がん等ワクチン接種緊急促進臨時特例基金は、国の臨時特例交付金（1,335百万円）を活用して造成。これにより、平成23年度までの間、市町の行う子宮頸がんワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種に補助を行います。22年度予算は266百万円。

従来これら３つの予防接種は、任意接種のため接種費用が自己負担でしたが、基金を活用した補助制度により、経済的負担が軽減され、多くの方が予防接種を受けられるようになります。

3つの予防接種の概要

○ヒトパピローマウイルスによる子宮頸がんを予防
中学１年生～高校１年生の女子に３回接種
１回10,000円前後

○ヒブワクチン：小児の細菌性髄膜炎を予防
０～４歳児に４回接種
１回7,000円～8,000円前後

○肺炎球菌ワクチン：小児の細菌性髄膜炎を予防
０～４歳児に４回接種
１回10,000円前後

※基金造成措置のため、対応は平成23年度までとなっています。その後については定期接種化を求め、国に要望してまいります。

※子宮頸がんについては、若年者の罹患死亡があまりにも多く、命を守るための低年齢接種であり、性道徳の乱れに対する社会的警鐘が必要であると思います。

ほっと安心子育て支援事業について思うこと

１歳までの乳幼児の保護者を対象に、保育所一時預かり事業の無料券を配布し、保育所に一時気軽に預けていただけるようにする子育て支援事業。保護者の育児不安や育児疲れを少しでも軽減し、虐待の未然防止につなげていこうとするもの…なるほど、お母さんの「育児ストレスの救い」に納得する一方で、「母子の距離を離す支援策って矛盾している？」と思われませんか。豊岡中央病院会長で、「一に抱っこ二に抱っこ三、四がなくて五に笑顔」と子育て支援塾で訴えておられる田下昌明小児科医・医学博士は、乳幼児と体内時計という話の中で、赤ちゃんがはいはいできるようになる７ヶ月前後、一人歩きが出来るようになる１歳前後、疾走できるようになる２歳以降、これら３段階の発達に伴い、赤ちゃんの体内時計がだんだんしっかりしたものになっていく。完成は大体10歳以降、したがって、特に６歳未満の子どもはまだ体内時計のリズムが完全には出来上がっていないので、ちょっとしたことでリズムが崩れやすく風邪やその他の病原体が身体に侵入するのを許してしまう、つまり病気になりやすくなる。だから、３歳未満の子どもを託児所や保育所に預けるのは、子どもにとってあらゆる面で百害あって一利なし、子どもに規則正しい生活を続けていく上で最も望ましいのは、母親が常に家に居ること。母と子の一体感と愛着行動が成立して子どもの心に安全基地が出来上がるのに３歳までかかる。だから、子どもが３歳になるまでは、母親は一日中家に居ることが望ましい。…と、愛に触れて次第に人間になっていく３歳までの育ちの大切さを提唱されています。

編集・発行／自由民主党・真政会
大津市京町4-1-1県庁2F　TEL.077-528-4020

未来にむかって―。自由民主党 真政会 県政レポート

Vol.3

謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、私たち「自由民主党・真政会」に対しまして、格別なご支援を頂きありがとうございました。

政権交代から一年半が経ち、国民の期待はことごとく裏切られ、失望と不安へと変わってしまいました。

日本がこの先、どこへ向かおうとしているのか、新年早々の国会から目が離せません。

こうした中、滋賀県にも「元気」が薄れているように感じます。

私たち会派所属の20人は、今年も少しでも滋賀県の未来が「元気」になるように活動してまいりますので、今後も変わらぬご支援を衷心よりお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

自由民主党・真政会　議員一同

会派活動

■ 郡市別政調会

10月25日（月）大津市
26日（火）湖南市
27日（水）愛知郡 / 蒲生郡・犬上郡
28日（木）東近江市
29日（金）草津市 高島市 / 守山市 甲賀市
11月　1日（月）長浜市 / 彦根市
8日（月）米原市
26日（金）栗東市

その他の市については議会日程等により開催出来ていませんが、開催する予定です。

郡市別政調会風景（大津市）

■ 団体要望聴取

11月15日（月）～18日（木）34団体

拝聴させて頂いた要望について、実施できるよう県執行部と協議を重ねて参ります。

各種団体要望聴取風景（議員室）

「滋賀元気宣言！」

日本を、湖国、地域をより元気にするため活動して参ります。